

日米安保条約調印 61 年に考える

# 欠陥機オスプレイの危険を検証する



— なぜ、日本政府は拒否できないのか？  
「日米安保」、その屈辱の構造に迫る —

アメリカ政府は、沖縄県民と日本国民の反対の声を押し切って、米海兵隊の「欠陥機」オスプレイを何としても「世界一危険」な普天間基地に配備しようとしています。そして、日本政府は、「安保条約上それを拒否する権限はない」などと言って、アメリカいなりこれを実行しようと必死になっています。そして、そのために「安全神話」をふりまこうとしています。

オスプレイの危険性はどこまで明らかになったのか。そして、なぜ日本政府は、ここまでアメリカいなりに欠陥機を受け入れるのか。— その根本にある、日米安保体制の屈辱的な関係を徹底的に明らかにします。

## 報告 1

オスプレイの危険性はどこまで明らかになったか

竹下岳さん：「しんぶん赤旗」政治部記者

## 報告 2

なぜ日本政府はここまでアメリカいなりなのか

— 「日米安保」の闇を解き明かす

末浪靖司さん：ジャーナリスト、(『対米従属の正体』著者)

【とき】 9月7日 (金)  
18:30~20:45

【会場】 港勤労福祉会館

東京都港区芝 5-18-2

JR 山手線、京浜東北線・田町駅西口 (三田口) 徒歩 5 分  
地下鉄浅草線、三田線・三田駅 A7 出口徒歩 1 分

【資料代】 500 円

【主催】 日本平和委員会

東京都港区芝 1-4-9 平和会館 4 階

TEL03-3451-6377 <http://j-peace.org/>

